

MAGAZIN | NEWS

06.04.2021

1シフトで27ジョブを印刷？キリパー・コーポレーションであれば可能です。

シュリンクラベル、ロールラベル、ポリエチレンショッピングバッグを主な製品とする、フレキシブル包装のメーカーである米国のキリパー・コーポレーションは、今日の軟包装印刷の成功の鍵は、短期間の技術習得と迅速なジョブの切り替えにある事を理解しています。この事が、2019年に自動マウンター、インクディスペンサー、インクソフトウェア、印刷版洗浄ユニットなどの、その他のハイエンド周辺機器とともに、W&H社のCI型フレキシ印刷機”ミラフレックスII 8C“に相当額の投資を行った原動力となりました。



キリパー・コーポレーションの印刷チーム

新しい機械で生産を開始してからからわずか1年で、キリパー・コーポレーションは1シフトで27のジョブを印刷することができました。共同オーナーで営業責任者のトム・キリパー氏は、「その日、特に変わった日ではありませんでしたが、非常にサイズの小さいジョブがたくさんありました。インク、アニロックス、版の変更がありました。全てのジョブで毎回8つの印刷デッキ全ての材料変更を行ったわけではありません。」と述べています

更にキリパー氏は、「私共はその日、まるで飛んでいる様に生産を行いました。もちろん、新しい機械がこれに大きく貢献していますが、最も大きな貢献は私共の印刷チームによるものです。プリプレス(印刷準備)部門と印刷部門の双方に優れたチームが存在し、この成功を実現させました。この様な日の生産に備えるためのアクションは、チームが多くのジョブ情報を含む印刷スケジュール通知を受け取る数日前からスタートします。私共の生産スケジューラーは、最小限の変更で1つのジョブのセット内容が次のジョブ引き継がれることを可能にする、最も効率的なジョブシーケンス(流れ)を作成するために一生懸命に働いています。」と、付け加えています。

キリパー氏は更に、プリプレス(印刷準備)部門とプレス部門の有能さを強調しています。「印刷はテクノロジーによって簡単になりつつあるとはいえ、熟練を要する仕事です。軟包装印刷工程に係る者であれば、この工程を監視し、概念を理解し、仕事を通してクリティカル・シンキングの姿勢を持って考えることができなければなりません。」と、キリパー氏は言っています。



W&H社のMIRAFLEX IIは、5台の主力印刷機に取って代わりました。「私共は古い印刷機をすべて廃棄し、すべての印刷をW&H社の印刷機のみで行っています。私共の印刷機稼働率は約50%です。私共はまだ限界に達していないと考えており、将来のビジネスに向けて本当に興奮しています。」とキリパー氏は付け加えています。

私共は、投資のタイミングと、投資が行われたときに機器が予定通り到着したことを非常に幸運に感じています。業界の他の多くの企業と同様に、2020年には軟包装に対する需要が急増しました。正確には40%の増加です。正直申し上げますと、W&H社のMIRAFLEX IIなくして、この急激な需要増に対応できたかどうかはわかりません。

キリパー・コーポレーションは、兄弟であるトム・キリパー（販売）とリンゼイ・キリパー・メイセント（生産）によって運営されている、26年の歴史を持つ会社です。米国アイオワ州エイムズにある同社の施設には、印刷用のW&H社 MIRAFLEX IIに加えて、ラミネート、スリット、加工の各部門があり、これらすべてに昨年からの多額の投資が行われています。ビジネスを展開している分野は、ストレッチラベル、ロールラベル、ロールストック、ポリエチレンバッグなどです。

キリパー氏は、「リンゼイと私にとってエキサイティングなことは、まだ改善の余地があり、まだまだ成長の余地があることです。」と締めくくっています。



国内お問い合わせ先:

株式会社イリス

TEL: 03-3443-4280, e-mail: Japan-mp3@illies.com

HP: <http://event.irisu.jp/windmoeller-hoelscher-packaging-jpn/>